

- ◇特集のそれから 京都市の図書館の資料収集方針とは？
- ◇Report 赤ちゃん優先タイムサポーター
- ◇Topics 飾りをつくる会 久しぶりの映画上映会

特集
の
それから

京都市の図書館の資料収集方針とは？—中央図書館にインタビュー

資料収集のルール統一と今後の動き

けやき17号の特集「利用者のニーズを考える—図書館の蔵書コレクションを中心に」で図書館の資料（蔵書）収集の現状とレファレンスサービスへの要望の声を挙げました。そして、もっと行きたくなる図書館を求めるにはまず、京都市の図書館の資料収集の現状を知ることから始めなければと、京都市中央図書館に尋ねてみました。

1月21日 A:京都市中央図書館・仲田課長補佐

Q:けやき・永井、吉政、城野、島崎

◇資料収集方針は策定中

Q これまでの京都市の図書館の資料収集方針はどうなっていたのでしょうか。

A 公共図書館として、市民の生涯学習を支援し、多様化する市民のニーズに応えるため各種資料を幅広く選定することとし、中央館、地域館がそれぞれ独自に収集していました。その後平成14年度のオンライン化が転換期となりました。

Q というとは？

A 京都市図書館全体の蔵書が一元的に見られるようになり、必要とする資料は単独館だけではなく、全蔵書の中から選んでいただけるようになったわけです。そこで京都市図書館の蔵書をトータルにとらえ、効率的な収集を進めていくために平成16年2月に資料収集方針策定委員会を立ち上げました。

Q その策定委員会とは？

A 中央館、地域館を含めた職員で構成し、月2回程度会議を開いています。

Q 資料収集方針の骨子は？

A 現在京都市の図書館で収蔵する約160万点の図書資料を、できるだけ多様な資料分布を実現させることです。また国や府立の図書館等との役割分担の必要から、京都府立図書館の蔵書構成等を念頭において、京都市図書館の独自性を考えていきたいと思っています。

Q 資料収集方針について、現在策定中ということですね。公開は？

A 現在、京都市の図書館全館統一の資料収集方針を成文

化したものを作成中です。うち一つは京都市全体の収集方針案。もう一つはそれを実現させるための各館の分担収集案となります。完成したあかつきには、ホームページにも掲示公開して、周知に努めたいと考えています。

◇各館の分担収集のシステムは？

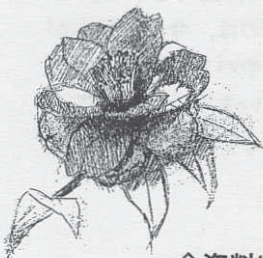
Q 各館の分担収集案について説明してください。

A 三つの中央館（中央、伏見中央、醍醐中央）を中核館として、地域館をバックアップするというのが基本になると思います。具体的にいうと、高額、専門図書については中央館が分担し、地域館はそれぞれ各地域のニーズに対応したものを主として収集していくということです。また、南北に長い京都市の地形を考え、あまり遠くまで足を伸ばさなくとも、必要な資料に接することができるような工夫をしなければなりません。例えば近隣に設置する図書館をブロック別にグループ化するのもひとつの方法だと思います。それぞれの館で基本的な水準を保ちながらも、ブロックの中でさらに補完し合う体制がとれば、理想的な形になりますね。そうしたことも含めて、今検討を重ねています。

Q 基本的な調べものに必要な閲覧用資料の充実を求める声もありますが。

A 持ち出し禁止の閲覧用資料は、図書館間の相互貸借ができませんので、どの地域館でも一定の水準を保てるような方法を模索している最中です。

Q 現況では地域館の基本図書のレベルが利用者のニーズ



にできていないという声が多く聞かれます。

A そのためにも分担収集がよいのでは。決まったスペースの中で効率のよい収集を行うことで、日常使う専門書なども、お近くの図書館まで取寄せられます。

Q その場合も、各地域館に一般的な本はどの分野も開架で十分な本が揃っていないと、図書館としての魅力が感じられないですね。

A 地域館においては、分野別の分担収集をするということではありませんので、特定の分野に集中するということになりません。地域のニーズに根ざした収集に努めることでより魅力的な書架を心がけていきたいと思えます。また児童書についてですが、現在も地域館である程度充足できるようになってきていると思えます。子どもたちは昨今の安全面の問題からもなかなか遠い図書館に行けないので、これからも充足を計って行きたいですね。それから地域館で新刊書を入れるとなると、どうしてもその所蔵スペースを確保するために、資料廃棄を行わなければなりません。しかし、20館の中で、最後の一冊となる本については、中央館の書庫へ所蔵していこうと考えています。

Q 廃棄については何か基準があるのですか。

A 廃棄については、資料収集方針に沿った蔵書構成から外れるものについて選定していくこととなります。これは収集と同じく、全体の蔵書構成を鑑みながら行っていくこととなります。

◇古書や行政資料・地域資料の収集を

Q 京都市の図書館は古書のコレクションが弱いと言われてますね。古書については購入の他に、特に寄贈本を受け付けてはいかがでしょう。

A 京都市の図書館は、府立図書館などと比べて歴史が浅いので、古い資料の収集が遅れています。入手困難な資料の

寄贈については、近い将来にお受けしていきたいと思えます。と言いますのも、幅広い年代の資料の寄贈をお受けする場合は、どうしてもその所蔵スペースが必要となります。平成19年度に開館を予定している右京中央図書館(仮称)は、敷地面積3000㎡を有し、京都市図書館では最大の図書館となりますので、可能なかぎりそこで収集してい



たいと考えております。

Q 地域館で行政資料や地域独自の情報を集めてほしいのですが。

A 行政資料に関しては、それぞれの部署で作成した広報資料が必ず図書館に届くようなシステムが必要であると思えます。ただ膨大な量になるので、やはりその所蔵は中央館が中心となり、地域館のスペースを考えるとちょっと難しいですね。

Q 地域の市民団体の情報などもぜひファイリングして開架で見られるようにしてください。

A 図書館の役割として「必要な情報の仲立ちをする」ということがあります。この情報というのは、今までは本が資料主体となっていました。ちらしやパンフレット状のものも情報として収集できればと思えます。例えばこの会報誌「けやき」も中央図書館の資料として収集するよう準備中です。

◇レファレンスの重要性

Q 収集方針が定まると、蔵書構成も変わって行くようですが、どのように各館が分担をしているのか、利用者に知らせるようにしてください。

A 各館の分担や、その目録を公開して使えるようにしていきたいですね。

Q 分担収集になると、ますますレファレンスが大切になるのでは。

A そうですね。ですから今以上に利用者が司書に質問しやすく、声をかけやすい雰囲気づくりが大切になってくると思えます。

Q レファレンスの内容については。

A 今後、選書にあたっては各館の司書が協議し、検討することになれば、資料の情報は共有されていきます。そうすると、これまでの資料選定とは違い、司書は全体の選書に参加することになるので、自館のみならず他の京都市図書館の所蔵情報をも共有していくこととなります。そうすることで、利用者が求める要求を的確に判断し、より速く、より適切に処理することが可能になると思えます。

Q その要である司書さんがプロとしていきいきと仕事ができるような場を管理者として提供してほしい。そこから、利用者が求めているもののさらにその上に行くようなよりよい対応が生まれると思えます。

A それこそ図書館サービスの基本ではないかと認識しています。

◇インタビューを終えて

蔵書構成の充実と

ほしい本や情報にたどり着けるサービスを期待する

前号けやき17号の特集「利用者のニーズを考える—図書館の蔵書コレクションを中心に」では、けやき会員の「利用者一人ひとりの世界を豊かにしてくれる蔵書コレクションであってほしい。図書館では、専門家によって選ばれた市民の様々な知的欲求に応えてくれる力のある本にこそ、出会いたい。」という声を報告した。

そして、「京都市の図書館は、各図書館の利用者の要求（京都市民や各地域住民の図書館に対する潜在的ニーズ）をどのようなものと捕らえ、それはどんなかたちで図書館の設置目的や収集方針に反映されているのであろうか」という疑問から、今回のインタビューは出発した。

資料収集方針は現在あらためて策定中、17年度中にも市民に公開とのこと、期待したい。現状を追認・文書化ということではなく、市民のニーズを踏まえつつ長期的な展望に立った「私たちはこんな資料を市民に手渡したい」という図書館の方々の熱意がこもった収集方針が、委員会から生まれてくることを願っている。

「分担収集」と聞くと、つい「ますます地元の図書館に行っても欲しい本がないのでは？」と心配してしまう。どの地域館にも児童書をはじめとする豊富なコレクションが揃っているうえでの、より専門的な図書の手配収集である

ということ、利用者が書架の前に立って実感できるものにしていただきたい。分担収集を行うことで、本揃えがより幅広く利用者のニーズに応えるものとなってくれると期待している。

さて、京都市の図書館の蔵書の一定の方針のもとでの再構築が実現したとして、はたして私たちは自力で読みたい本にたどり着くことができるだろうか。新しい分担収集などの仕組みはもちろん周知されるであろうが、そういったマニュアルでわかるレベルをこえた本来の本探しに、司書さんの手助けが今以上に必要となるだろう。困惑した表情で書架を彷徨っている利用者に「どんな本を探しているのですか？」と司書さんが声をかけてくださる、そのような光景がしごくありふれたものとなって欲しいですね。

もともと資料の収集方針についてのインタビューではあったが、インタビュー後、図書館での司書さんの役割の大きさ、図書館で私たちを求める本へと誘ってくれる“人”の必要性を、改めて強く感じた次第である。

(永井)



けやきの活動 04年10月～05年2月

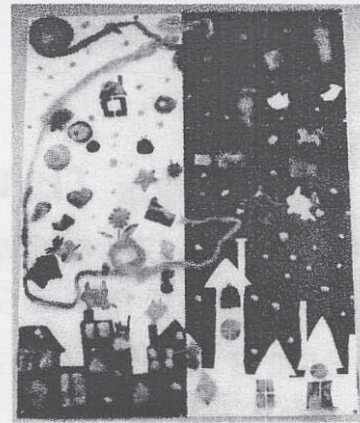
11/4 右京中央図書館を考える会	ティア1周年記念行事についての会議	・10/23.11/27.1/22 (第4土曜) 図書館おたのしみ会に協力
11/11 図書館協議会出席	1/21 ニュースレターNo.18特集—中央図書館に取材	・10/14.11/11. 12/ 9. 1/ 13. 2/10 (第2木曜) 絵本学習会
11/18 京田辺市のブックスタートボランティア2名が赤ちゃん絵本ボランティアの活動を見学、情報交換。12月2日にも1名見学。	1/21 石部虎二絵本原画展について図書館と会議	・‘あかちゃんに絵本を’ ボランティア会議
11/27 絵本コーナー飾りをつくる会	2/ 6 ニュースレターNo.18特集—中央図書館に再取材	・10/7.14.21.28 11/4.11.18.25 12/2.9.16.23 1/6.13.20.27 2/3.17. (毎週木曜10:30—12:00) 絵本コーナーで‘あかちゃんに絵本を’ボランティア
12/2 左京区ボランティア連絡会	2/10 原画展、石部氏宅に挨拶	・10/4.11/1.12/6.1/7.2/7 (第1月曜) 事務局全体会議・図書館とのミーティング
12/7 右京中央図書館を考える会	2/14 原画展チラシ作成他準備	※他団体会議には事務局有志が参加
12/13 スペシャルおたのしみ会練習	2/15 右京中央図書館を考える会	
12/16 映画上映会についての会議	2/17 ‘あかちゃんに絵本を’ ボランティア1周年記念行事リハーサル	
12/18 冬のスペシャルおたのしみ会	2/18 映画上映会	
1/上旬～ ニュースレターNo.18作成	2/24 ニュースレターNo.18印刷発送	
1/20 ‘あかちゃんに絵本を’ ボランティア		

TOPICS 飾りをつくる会

11月27日

左京図書館の絵本コーナーの「飾りをつくる会」がげやき主催で開かれました。子どもたちの描く絵をモチーフに大人と子どもが協力。羊毛の感触を楽しみながら、みんなでアイデアを出し合って大いに盛り上がりました。

次回は3月26日(土)14時より。「柳は緑、花は紅」のテーマで和紙と西陣織のきれいで貼絵をつくります。どうぞお楽しみに!



切り絵と羊毛であたたかな壁面になりました

久しぶりの映画上映会

2月18日 於・3階大会議室

13回続いてきた左京図書館での映画上映会は、2003年5月以来、著作権の関係で自粛中断されていました。このたび、その上映会が、著作権問題をクリアした故深田久弥氏の『日本百名山』(富士山・黒部五郎岳他)のビデオ上映会として再開されました。

みんなが再開を待ち望んでいた上映会です。私もわくわくしながら案内ボランティアとして上映会に参加しました。30分以上も前から数名の方が待っておられ、案内役の私達に「上映会再開を待っていたんだよ」とか「いつから始まったの?」とか声をかけてくださって、うれしくなりました。参加者は47名と大盛況でした。

ビデオとはいえ、テレビ画面とは比べものにならない大画面に映し出される大きな自然。かつて登った山に

は、なつかしさがよみがえります。その自然にゆったりと抱かれる心地よさを満喫した2時間でした。

げやきが行った会場でのアンケートによると、初めて上映会に参加された方が25名。前回の名画シリーズとはまた異なった興味や期待をもった方々が会場に来られたこととなります。また、邦画、洋画を問わず上映会への希望も多く出されました。これらの希望が今後に生かされるよう願っています。

上映後、「楽しい時間をありがとう」という図書館への感謝の言葉だけでなく、ビデオの中で朗読された『日本百名山』の一節に「深田さんは名作家だったと思い出したね」との声を耳にしました。映像はそれを超える様々なものを私達に喚起してくれるのだ、と改めて思います。身近な図書館で色々な映像を通じて、色々な文化に接したい! 私の図書館への想いもふくらみます。次の上映会はいつかしらと楽しみにしています。(吉政)

チリンのすず
 やなせたかし著
 フレーベル館 78年
 オオカミのウオーン
 殺された羊のオチ
 仇討ちが緒に近づく
 月の中の一筋が、仇討ちを
 遂げたい。オチを
 連れて行く。悟りか
 たなげのウオーン。深い
 を倒し、後でオチを
 正し、物差しのウオーン。
 情愛の悲しみに、深
 ンマのた本で、やな
 ンマのた本で、やな

ハリリー・ポッター シリーズ
 ローリング著 松岡佑子訳
 静山社
 主人公のハリリーポッター
 がホグワーツという魔法
 使用の学校で、いろいろな
 事件を解決していき、ハ
 マットを読んで五巻全部
 ぐに読んだ。マジック
 まほうやクイディッチそ
 にまほうの道具等、ど
 もおもしろくて毎日読ん
 て、もうたくあきなひが
 てもう七巻で、次の六
 お、七巻がでるの、が六
 巻、七巻がでるの、が六
 お、七巻がでるの、が六
 (養徳小5年・鳥山昂希)

げやきの
本棚 18
 わたしの
 おすすめの本

Dr.ハリオットの
 おかしな体験
 ヘリオット著 池澤夏樹訳
 集英社文庫 81年
 イギリスの獣医さんが書
 いたユーモア溢れるコン
 本を読んだのは、学校の図
 書を司書の先生に勧めら
 とれた。入った先生のお
 遣いで、入った先生のお
 本棚に入ると面白かったです。
 誰かに何か面白本を
 一冊貸して、面白本を
 私には貸して、面白本を
 ぶで貸して、面白本を

しさんの絵本です。
 (〇さん・高野)
 京都市場長の
 おいしい内緒話
 田中耕造著
 講談社 04年
 京都市場に入荷する京
 菜と魚貝類について、由
 や産地、簡単に美味し
 理法などの食材は写真や
 それぞれの食材は紹介さ
 ラストとも紹介されてイ
 おり、パラパラとページを
 めくるだけでも楽しめる。
 終章では、単に食材を供
 するだけではない、京都市場
 の新たな試みが述べられて
 おもしろい。
 (Nさん・左京図書館)



けやき

左京図書館 共催

石部虎二 絵本「ゆりかもめ」原画展

私たちの住む京の川辺に毎年飛来するゆりかもめたち。
その姿を描いたすばらしい原画をご覧ください。

日時：3月2日（水）～10日（木）

3/8,3/9は休館

場所：左京図書館

石部虎二氏 左京区下鴨在住。絵本、科学書の挿絵、図鑑・辞書などの分野で活躍中。『ゆりかもめ』（福音館書店刊）ほか『かいつぶり』『たおされたカシの木』『蚊の博物誌』など著書多数。

図書館友の会 けやきの仲間になりませんか

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ、
一人一人の世界を豊かにしてくれる場所。
それが私たちの願う図書館です。

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと「けやき」を作りました。図書館のスタッフとともに、左京図書館を支え、育てていきたいのです。

こんな活動をしています 一緒にしましょう

子どもたちに絵本を読んだり、人形劇やおはなしも。

赤ちゃんの本選びのお手伝いや絵本についての相談も。

映画上映会など左京図書館の催しに協力したり、
「けやき」のテープ録音や、絵本コーナーの壁面を飾る作品を作ったり。
図書館の現状を調べたり、提案も。 ニュースレター「けやき」を発行。

ぜひあなたの思いを形にして

図書館友の会「けやき」の仲間になってください。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方

TEL 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番

口座名称 図書館友の会 けやき

年会費はニュースレターの印刷および郵送費の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎します。直接又は上記の振込口座をご利用下さい。

けやき情報板

「あかちゃんに絵本を」

ボランティア一周年記念行事

日時：3月3日（木）11時より

場所：3階大会議室（左京図書館階上）

楽しいうたや、てあそび、パネルシアターなど、おひざにだっこで楽しいひとときを。参加者が語り合う時間や絵本の紹介もあります。（申し込み不要）

絵本コーナーの飾りをつくる会

日時：3月26日（土）14時より

場所：3階大会議室（左京図書館階上）

テーマ：「柳は緑、花は紅」

和紙と西陣織のきれをつかって貼絵をつくります。大人も子どももどなたでもご参加ください。（申し込み不要）

右京中央図書館（仮称）についての

アンケート調査に参加しよう

京都市の各図書館や区役所等に施設整備案やコンセプトが紹介されたアンケート用紙があります。期限は2月中、市民の声をどしどし届けましょう。

こさそのまこ求転るのりい▽と身にい左夜ため虎▽
とれの市すどめ新会前実て今伝近もま京明の「二今
でた結民。をる築は身施の、わな馴す図けが。さ回
す図果が次思署にハのさア新っ自染。書の、子ん原
ね書がこのう名関年新れん右て然み頁館京ゆどの画
。館いのスト運し前左てケ京きののをの都りも絵展
運い調テ隔動て左京い「中ま有風開辺のかが本が
営か査ツ世かの京図まト央す様景くり鳥も特「開
がたにプのら情図書す調図。がが毎も瞰めにゆか
実ち参は感始報書館。査書 活広に描図か好りれ
（現で加、がま公館をけが館（きが子か。らきかる
りす反し多あつ開の考や市にき活りどれ今見だも石
）る映、くりたを移えきよつ）き、もてのたっ部

編集後記

◇けやき 第18号 2005年2月24日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部

題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のSさん
カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方

TEL/FAX 075-721-2625